

乳頭山

1994.3.20 (曇時々雪時々晴)

メンバー: L. 作野, 岡坂, 馬場, 山崎

朝、起きたら空は晴れ間が見えた。しかし、出発時(8時頃)にはまわりの山にはガスが降り、わずかに雪がちらつき出た。そう悪くないさうなので孫六の湯を8:20に出発した。少し戻った沢との合流の意、登で少し汗をかきながら、林間の赤布が所々に着けられているコースを順調に高度をかせぐ。途中2名の人と会う。2人共昨日夜田代平小屋に泊ったようで大荷物を背負って下りに苦労していた。

我々は、昨夜降、こうすらと新雪が積った上を軽やかに進み、10:00 田代平小屋着。小屋は新設されて、ひとんまりおひてあり快適そうである。乳頭頂上がガスでいるので時間も早いので、しばらく滞在することなし、犬を起して暖を取る。11:20 晴れて来て、ガスも上ってきたので頂上に何けて出発した。小屋から上は無立木に近く、そのせいでウインドクラストした堅い雪面を登ることになった。約30分で頂上着。ちょうどスカスカがかり風も強くなってきた。休むこともせずすぐ滑降準備にかかり 12:05 滑降開始。カリカリの斜面を赤布に沿って下り、12:20 小屋に戻った。小屋には神奈川スキー協の一一行を含め約30名ほどでござ返し

ていた。13:00 小屋を後にて、孫六へ向う。この滑降は朝のば涅ではもう少し良いと思、たが、気温も比較的高く雪質は最悪に近いモナカ状となっていた、林も濃く思うようにスキーバリエーションがない。若干12:13:45に孫六の湯に着き、露天風呂に飛び込み氷ヒールで乾杯、無事を祝った。

タイム: 孫六の湯 8:20 → 小ビック
8:45 → 田代平小屋 10:00/
11:20 → 乳頭山頂 11:50/
12:05 → 田代平小屋 12:20/
13:00 → 孫六の湯 13:45

